

# 2019年度 施政方針

## ◆はじめに

本年は新しい元号が、スタートをする年であり、  
知立市は、市民の皆様方と、協力し合い、協働のまちづくりを明文化した『知立市まちづくり基本条例』を、平成17年度、全議員の賛同を経て制定しました。

その前文には、  
『私たちは、先人が築いた地域資源や文化を引き継ぎ、より暮らしやすくするとともに、豊かで潤いのある未来を次の世代へ繋げるためにも力をあわせていかなければなりません。そのためにも、市民が、市民の手で、市民の責任で主体的にまちづくりに取り組むことが大切です。』と謳われています。

知立に住む、知立に集う、全ての方々がそれぞれのお立場でまちづくりに携わっていただくことで、第6次知立市総合計画が目指す『輝くまち みんなの知立』安らぎ・にぎわう 住みよさを誇れるまち』になっていくものと確信をしております。

そして、現在、様々な場面において多くの皆様方が力を発揮され、ご活躍していただいております。



知立市長 林 郁夫

## ○市民参加のまちづくり

毎年文化会館を会場として、子どもから大人まで多くの人々に夢や感動を提供しているちりゅうこどもフェスティバルや、新地公園でのドリム・イルミネーション、また、まちの科学館設置を目指す市民団体が主催する『まちのふれあい科学館』なども、まさに、市民の皆様方のお力で、『わがまち知立』を大いに盛り上げ、発信していただいております。

## ○安全で安心できるまちづくり

犯罪を無くすため、毎日の防犯パトロールの実施や、防犯灯の増設、町内会への防犯カメラの設置補助などを行ってまいります。

防災対策については業務継続計画（BCP）をもとに、更に訓練や検証を行っていくほか、本年度より新たに「市町村防災情報システム」の導入を図り、更なる防災体制の充実を図ってまいります。

## ○子ども・子育て支援に関する取組み

本年度、ICT教育推進のため、全中学校へ大型ディスプレイを設置していくほか、小中学校全校の普通教室へエアコン設置を図ってまいります。

また、来年度新たに児童発達支援センターを中央子育て支援センター内に開設すべく準備を進めていくところであります。

また、本年度より、新たに、逢妻保育園を乳児保育園化するための準備予算を計上していくほか、にじいろニコニコ事業の着実な実施を図りながら、「子どもを産み、育てるならば知立」と、多くの皆様方に評価していただける環境づくりに引き続き取り組んでまいります。

## ○福祉への取組み

本年度、新たに障がい者相談支援員を2人増員するなど、より丁寧な相談体制の確保を図ると共に、引き続き成年後見制度を周知してまいります。

高齢社会に向けての取組みは、昨年、

第7期・介護保険事業計画、第8次・高齢者福祉計画を策定し、今後も、更なる地域包括ケアシステムの実現や介護予防などの視点で、高齢社会に向けて取り組んでまいります。

## ○環境に関する取組み

本年度よりごみの立ち番制度が無くなるなど新たな制度がスタートすることから、新たに『ごみ出しガイドブック（外国語版）』の作成、廃棄物減量推進員の増員などを行うほか、移動式の不法投棄監視カメラも、重点地区には随時設置してまいります。

また、本年度も公共施設の照明・空調を計画的に効率的なものに変えるべく、国からの補助を受けカーボン・マネジメント強化事業を行うなどしながら、CO<sub>2</sub>削減のための環境づくりに取り組んでまいります。

## ○健康に関する取組み

健康に関する取組みについては妊産婦・乳幼児健診事業、がん検診推進事業などを実施していくほか、本年度新たに「骨髄提供者等支援事業」を実施してまいります。

また、本年度、新たに、福祉体育館の柔剣道場にエアコンを設置していくほか、公園・散歩道の整備、学校グラウンドなど学校施設の有効活用を図りながら、スポーツに親しんでいただける環境づくりにも努め、健康を推進してまいります。

## ○まちの活力づくり

昨年末、知立駅北に再開発ビル「エキータス知立」が完成するなど、これから、人の成長、子どもの成長とともに、更に景色が大きく変わってまいります。

知立駅周辺整備の事業効果が、知立市内全域に最大限波及されていくよう、定住人口・交流人口をより増大させるべく、また、経済効果や税収効果を最大限に発揮させるよう丁寧に着実に進めてまいります。

観光施策については本年度も八橋かきつばた園の花の全面復活に、鋭意取り組み、春には、『かきつばたまつり』を開催し、多くの皆様方に喜んでいただけるよう関係者の皆様方と尽力してまいります。

併せて、一昨年策定しました歴史文化基本構想を基に、文化財などの保存・活用に向けて尽力してまいります。

また、本年新たに機織池整備の関連予算を計上させていただきました。長年、地域の皆様方が期待をされていた事業で、地域に残る伝説なども伝えながら、多くの方に親しまれるかたちで整備をしてまいります。

## ○より効率的、効果的な行政運営

多様化する行政課題、厳しい財政事情などを鑑み、本年度も、モットイナイ意識や内部管理コスト意識を徹底し、併せて、民間活力の導入や広域行政の推進を図るなどし、より効率的で効果的な行政運営に努めてまいります。

また、本年度、雇用確保や税収確保などの視点から新たな組織をつくるなどし、企業誘致を推進してまいります。

## ○おわりに

来年は、市制施行50周年を迎えます。50周年を機に、ここ知立市から、新しい価値を発信すべく様々な諸事業を市民の皆様方とともに進めていく所存であります。50周年に向けた寄附金等も引き続き募ってまいりますので、ご協力よろしく願います。

また、市民の皆様方に、行政に対して安心感や信頼感を抱いていただけることが肝要であると思っておりますので本年も、5つの知立市職員の誓いを、私ども職員一同、しっかりと遵守し、『知立市に住みたい』『住み続けたい』と、多くの皆様方に評価していただけるまちをつくるため、全力を尽くして市政に邁進してまいります。

